

# RUNその2 第28回米子読売マラソン大会にも参加

『夏草や兵(つわもの)どもが夢の跡』 芭蕉

大会の翌日、仕事で法勝寺川沿いに車を走らせていたときにふと脳裏をかすめた句です。去る11月28日(日)に「第28回米子読売マラソン大会」が開催され、ハンサム12月号で予告通り参加してきました。今回の読売マラソンのエントリー総数は水鳥公園マラソン中止をうけ、524名を数えました。私が出場したハーフマラソンの部は、「東山陸上競技場～旧日野橋～観音寺～青木～大袋～会見町寺内折り返し」の日本陸連公認コースで行われました。

寒風吹き荒ぶ中、ハーフマラソンの部は正午にスタートしました。前回の大山高原マラソンでは10km72分という醜態をさらしてしまったために、今回は1ヶ月間の準備期間を設け、毎晩10kmの走り込みを続けてきました。タイムも10km54分にまで短縮でき、完走へのかなりの手応えといつか足応えを感じていました。

市民球場あたりで集団はバラけていきましたが、あくまでマイペースを保とうとおもい、無理せず後方の集団に混入することにしました。前回は走り出してすぐに息が上がりはじめたのですが、今回は快調そのものです。「これはいけるかも。」そうおもい始めた頃、旧日野橋から観音寺の土手へコースは移っていきました。その途端、強風に煽られるかなりタフなレースに変貌しました。5kmを過ぎたあたりで足の裏のママがやぶれ、ペースダウン。10kmの給水地点を過ぎてからは足が(!)酸欠状態になってしまいました。結局、15km90分の制限時間にひっかかりあえなくリタイアしてしまいました。

実に悔しい結果となりましたが、20kmを越えるレースに10kmの練習で臨む矛盾を認識できたこと、また、自分の意志に反して足がいうことをきかないがゆい体験ができたことは、必ず次回のマラソンに生きてくるとおもいます。同時に、今回のハーフ出場を通じて、いかにトライアスリートがすごいかがよくわかりました。自転車で140km激走したあとのフルマラソン。足なんかきつとパンパンじゃないですか!バケモノです、あなたがたは。今回中央会からもうひとり参加予定でしたN嶋さんの姿がいくら捜してもみあたらなかったのも、後日お聞きしたところ、「いや～前の晩酒飲みすぎて、よう行かんかったわ。」とおっしゃい、おもわずズッコケてしまいました。でも、そんな笑える発言とトライアスロンでの雄姿とのギャップがN嶋さんの魅力であるんですけどね。次回は是非御一緒させて下さい。ただし、トラック1周も一緒に走れないかもしれませんが。

(広報/後藤公平)

# Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 堀田 収 編集責任者 小林慎一 印刷所 東京印刷製

(米子水鳥公園)



## 新年ごあいさつ

新年おめでとうございます。

会長 堀田 収

昨年は、親会である鳥取県中小企業団体中央会を始め、関係諸団体、諸先輩方のご支援をいただきまして、鳥取県西部中小企業青年中央会も25周年を迎えることができましたこと、心から御礼申し上げます。会員の皆さん方も、25周年事業に真摯に取り組んで頂きまして、本当に有り難うございました。

25期も折り返し点を通過し、あと半年を残すこととなりました。今期は、スローガンを、雑(つなぐ)としております。西部青年中央会の四半世紀の歴史をふまえて、先輩方の築いてこられた素晴らしい業績、会の文化を守り育てながら、時代に合った会の運営ができるように、同時に構造改革も推進したいと思っています。会員の皆さん方の力を結集して、これからも25周年の節目の年に相応しい活動を心がけたいと思っています。

さて、今の景気をどう見るか、色々あるかとは存じますが、地方の経済、特に中小企業にとっては、まだまだ厳しい状況にあると思います。しかしながら、そのなかにあっても中小企業の特徴を活かして、立派な経営をなされている企業もたくさんあります。我々西部青年中央会も、刺激し合い、切磋琢磨しながら、中小企業の活性化、中でも中小企業の人材の育成に努めて、少しでも会員企業のお役に立ちたいと考えております。また、青年経済団体として、地域の為に貢献できる団体でありたいと思います。本年も、変わらぬご指導ご鞭撻を頂きますよう、よろしくお願い致します。

会員の皆さん方には、当会の活動が、更に役に立ち、そして楽しいものでありますように、色々とお知恵を絞っていきたく思いますので、全員のご協力をお願い致します。

本年が、21世紀に向かって、飛躍の年になるよう、みんなで力を合わせましょう。

## 聞いてごしない Part 13

昨今どの業界でも価格競争が激しくなっている中、米子地区では12月に入り、家電業界大手のY電器が、そしてその前はHボルト、K電器と相次いで出店してきたのは周知の通りだ。私の知人から聞いた話なのだが、Y電器で某電器店の値段を言うと、すかさずそれより安い値段で交渉でき買うことができたそうだ。消費者にとってはとても良いことなのだが、本当にそれでいいのだろうか。他店の価格(情報)を知っている消費者だけが得になる。知らずにいた人はどうなるの?...と餅にも似た捨て台詞が出てくるのは私だけだろうか...これは同業界だけにあらず!!

だが、物が安くなればなるほど、もしかして自分の首をしめてはいないだろうか。卵と鶏理論を考えてみると、商品を安くするには、仕入を安くしなければならず、製造では、製造原価を落とすことが必要になってくる。そうなると、下請けや部品の仕入価格を下げざるを得ない。そこで細部をむたり価格の締め付け交渉がされる。売り手は仕事を取るため下げ。粗利が下がり利益を圧迫し、果ては赤字へと転落してしまう。そこまで止まればいいのだが...。それでも消費者は、安ければ安いほど「いい買い物」として満足をする。消費者とは我々。

実に現在、企業ではリストラ、スリム化が急速に進み、失業率は全国で4%を上回る。失業すれば物を買うこともできない。でも、売れなければ買うことはできない。...などと、卵が先か鶏が先かを夜な夜な考えて、眠れない夜をさらに眠れなくしている我輩であった。

さて、皆さんはどう考えるのかな。

〈片田舎の偏屈オヤジ〉

コピーをして名簿にお貼り下さい

(広報)

 **はせがわ たか ひさ**  
**長谷川 貴久** O型 技術  
 (有)ミトクハーネス 製造業(ワイヤーハーネス、電子ハーネス製造加工)  
 〒689-4122 西伯郡岸本町坂長901番地  
 TEL 68-2779 FAX 68-2466  
 (KT) (EM)  
 H11.12入会 (推薦者)前田(真) 森田(雅) <自宅>米子市青木561  
 〒683-0252 S47.11.17 TEL26-0518

(コメント) お初に、御目にかかります。姓は長谷川、名は貴久と申します。趣味は、読書(と書いてもあまり重い物は駄目ですが)で、井上陽水の唄が好き(あと、筋少)です。北京で3年程、語学留学をしていましたので、日常会話程度では困りません。ただ、この前使っていないので、少々危なくなりつつあるのが悩みです。今回、当青年会への入会を希望させて頂いたのは、何分にも、格闘を世間知らず(西側から指摘される)を、当会に在籍しておられる諸先輩方の英知の光を浴びて、せめて人並み並には学び、成長すると共に、社会の輪に通入っていく術を、御教授願いたいと思ったからです。若輩者で、至らない部分も多々有ると思いますが、宜しく御指導の程を御願いたします。

### 1月例会案内

と き 平成12年1月17日(月)  
 ところ ホテルサンルート米子  
 講 師 社団法人 松江観光協会  
 演 題 観光プロデューサー 永井 努氏  
 「地域ぐるみで取組む観光の姿」  
 ~一人ひとりがはじめる地域観光~  
 担 当 地域ビジョン委員会

### 1月役員会報告

1月定例役員会が平成12年1月7日(金)、米子食品会館に於て開催された。当日の主な議題は、次の通りです。  
 (1) 1、2月例会開催の件  
 (2) 厄落しとの開催の件  
 (3) その他  
 ※尚、詳細については、委員長までご照会下さい。

### 編集後記

忘年会の「台湾震災復興大オークション」は熱かった。我々の心を魅了するのは、「台湾」でも「震災復興」でも無く、「オークション」そのものかも知れない。かくいう私は最近、インターネット・オークションにはまってしまった。最大手のヤフーには5万円余りが出品されており、実際に競り合った末の落札の満足感や、出品物が想像以上の高値で落札された時の喜びはたまらない。未体験の方には、分類「ファッション・女性用・その他」の閲覧をお勧めする。決して、はまらぬ様……

# 12月恒例忘年例会報告

1999年最後、恒例の忘年例会が12月15日(水)ホテルわこうに於いて、現役会員105名、OB会員28名、来賓3名参加のもと、盛大に開催された。

最初に堀田会長より「25期も折り返しに入り、この半年間青年中央会の歴史を維く為、また時代に合った構造改革をし、さらなる飛躍をする為にOB意見交換会を行なった。この意見をふまえ残り半年間会員全員



で知恵を出し合って活動したい」旨の挨拶があり、引き続き来賓の代表として、西村文夫鳥取県中小企業団体中央会事務局長、鶴田武久OB会会長より挨拶があり、高岡克也商工中金米子支店支店長の乾杯のご発声により宴会が始まった。

歓談後の今回のアトラクションは、特別企画「台湾震災復興大オークション」と題して、震災被害まもない台湾へ義援金を贈る事を目的とし、会員諸氏より商品提供をうけ行われた。

商品は出たのお楽しみで、岩崎・徳中両会員の絶妙なかけあいの司会進行にて進められた。野菜一年分、鮮魚、海外旅行券、貴金属、家電品、米30kg、酒・ビール、象牙の印鑑セット、線香ローソク、また会員諸氏お世話になっている方もおられるうわさの「リ・アップ」。ウソかホントか訳のわからぬ「雛形あきこ・プレミアムペットボトル」など、青年中央会会員ならではの色々な商品が集まり、異業種集団の力を見せた。

司会のスムーズな進行のもと(中にははめられた方も?)白熱気味の中数多くの商品が競り落とされた。

今回の収益金は、総額397,000円と発表があった。その後、手島OBより10,000円の寄贈があり、結果407,000円が台湾へ贈られることとなった。

大成功のオークションで盛会裡に終わり、また、新たなOBと交流が計られた例会であったと思う。最後に、手島敏弘OBにより、新しい年への希望を込めた万歳で閉会となった。



## 12月度委員会報告

**マネージメント委員会**  
平成11年12月9日(木) 於:岩崎館 出席者/8名  
内容/ 役員会報告及び3月担当例会の打合せ後、ビジネス委員会と合同で忘年会を行った。

各自委員会の枠を超えて、前期の反省及び後期の展望等語り合った。  
又、田中会員・金田会員の進行で、ゲーム等も大いに盛り上がった。

**ビジネス委員会**  
平成11年12月9日(木) 於:岩崎館 出席者/10名  
内容/ 今回は、忘年委員会としてマネージメント委員会と合同で開催した。コンパニオンも顔なじみばかりであり、大いに盛り上がったことは言うまでもない。

2次会は朝日町へと移動、青年としての体力、気力、精力を証明した1日でした。  
そして来年1年の出席率向上を誓い散会した。

**政治行政委員会**  
平成11年12月6日(月) 於:喜作 出席者/10名  
内容/ ・半期の活動を振り返って後期の方向を議論  
その後忘年委員会へ入った。

**げんこつ委員会**  
平成11年12月8日(水) 於:皆生菊乃家 出席者/10名  
内容/ ・担当例会最終打合せ  
・21地球委員会と合同で打合せ  
・忘年委員会を兼ねて、例会のアトラクションの予行練習を行った。

**地域ビジョン委員会**  
平成11年12月7日(火) 於:たこ八 出席者/12名  
内容/ ・1月担当例会役割担当決め  
・忘年会

**21地球委員会**  
平成11年12月8日(水) 於:皆生菊乃屋 出席者/9名  
内容/ 菊乃家に於いて、12月忘年例会の打ち合わせをげんこつ委員会と合同で行った。今回は忘年委員会という

ことで、菊乃家自慢のはたん鍋と、おいしいお酒をいただいた。ある程度お酒がまわったところで、忘年例会で行う予定のアトラクション、25周年特別企画「台湾震災復興大オークション」の予行演習を行った。各自持ちよった自慢の品に、それ相応?の値がつけられ落札されていた。ついには、とっておきの1品まで競売にかけられ…。最後に忘年例会の成功を願って乾杯して、2次会へと移動した。

**2020 グランドデザイン委員会**  
平成11年12月7日(火) 於:ホールサムイン皆生 出席者/12名  
内容/ ・2月担当例会の打合わせ

忘年委員会では、先ず武海会員による、会員個々のアニマル占い、長所は笑顔で頷き短所になると、これは違うと叫び声をあげる人など反応はさまざまであった。委員長のカートン・高峰ばりの図解は懇切丁寧でよくわかった。

次に夏山会員による女性を交えての大人のゲームであるがあえて内容を書かずに置きます。ただ我々は紳士であったと言っておきたい。

**広報委員会**  
平成11年12月3日(金) 於:皆生海潮園 出席者/13名  
内容/ ・ハンサム1月号の編集

忘年委員会へと移行し、小林副会長にこの6ヶ月の総評をしていただいた。そして、川端会員の乾杯の音頭で酒宴が始まり、平素の広報活動の重責を暫し忘れ、終始なごやかな雰囲気では進んでいった。

2次会へ突入。減多に見ることのできないパフォーマンスの連続で、大盛り上がりを見せた。更に3次会・4次会と、更なる親睦を深めるために、また、去りゆく1900年代を惜しむかのように広報の面々はおもろく存分皆生の夜を満喫した。

**総務委員会**  
平成11年12月6日(月) 於:皆生海潮園 出席者/11名  
内容/ ・忘年委員会

## 上期委員会別出席率一覧

